ポスターは人の目に留まり、関心を持ってもらえるようにデザインすることが大切です。ポスターにはいかに多くの人を引き寄せ、メッセージを伝えることができるかが求められます。

本講座では、単に「見せる」のではなく、「魅せる」ポスター作りのコツを教えます。

文書表現能力や文字やイラストのデザインをマスターし、見栄えのする実践的なポスターを作ってみましょう。

「魅せる」ポスター作りの５つの条件

1. 魅せる:イメージアップと

目立つデザイン

1. 引き寄せる:アイキャッチ
2. 読ませる:見やすくわかりやすく
3. イメージさせる:必要！便利！

お得！という気持ちの刺激

1. その気にさせる:

参加や購買の行動へ

キャッチコピーは重要

キャッチコピーは一瞬で読ませる訴求力のある文書表現が必要です。あまり長い文章はインパクトに欠けます。せいぜい20字以内にまとめましょう。

デザインで

集客や売り上げをアップする！

魅せる！

ポスターデザインの

作り方

イメージカラーに合わせた色選択

パソコンセミナー

ものによってイメージカラーは違ってきます。通常、食品関連は暖色系、生鮮食品は寒色、癒し・ヒーリングは淡い緑系、匠や伝統は紫や茶系、ビジネスは青や青紫系、子どもは黄色やピンク系がイメージカラーとして使われます。カラーデザインにはイメージカラーを活かしましょう。

**テキスト**

**「Word/Excel/PowerPoint 標準テキスト」**

Word/Excel/PowerPointの操作機能を解説するのではなく、コンテンツデザインを中心に実践的な活用、表現技術を解説するテキストです。

このセミナーではWordの紙面レイアウト、フォントデザイン、イラストデザインを使用していきます。

文字のメリハリをつける

文字のサイズ、フォントだけでなく、大きな文字、小さい文字、太い文字、細い文字をバランスよく組み合わせ文字にメリハリをつけましょう。また、3ｍ離れたところから読ませる文字、30cmの距離で読ませる文字の見せ方も工夫しましょう。

イラストを使ってアイキャッチ

イラストや写真は文字よりアイキャッチ効果が高いです。しかし、多用すると効果は落ちます。キャッチコピーや文書などと一緒にバランスよく配置することが大切です。

主催：技術評論社

**講師**

**Makoto Sadahira**

フォントの使い方(フォント特性)、フォントカラーの使い方(カラーイメージ)、文書の配置方法（紙面レイアウト）、見せる文字、読ませる文字（デザインと訴求効果）、イラストデザイン(イメージデータの挿入と編集)などを演習していきます。

**講師**

**Makoto Sadahira**

フォントの使い方(フォント特性)、フォントカラーの使い方(カラーイメージ)、文書の配置方法（紙面レイアウト）、見せる文字、読ませる文字（デザインと訴求効果）、イラストデザイン(イメージデータの挿入と編集)などを演習していきます。

主催：技術評論社